

スポーツユニフォームにおける デザインシミュレーションシステムの開発

Overview ～事業概要～

- Web上でユーザーが、ユニフォームデザインをシミュレーションできるシステムを導入
- スポーツ用品店も、営業マンがタブレットを学校に持ち込み、プレゼンテーションが可能

Products

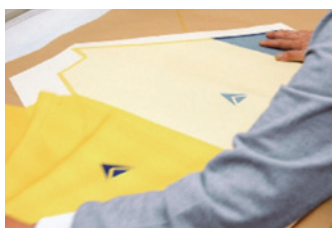
～取扱商品～

スポーツアパレルに革命を 株式会社アクラム

当社は、お客様のラフスケッチ等の要望から、デザインを起しオリジナルウェアを昇華プリントでの染色から縫製し、検品・出荷までを社内で一貫してできるシステムを保持。また、国内外の生地メーカーと連携し、良質で機能的な素材をスポーツ競技種目に対応して生産できるよう開発に取り組んでいる。

【昇華プリント事業】

昇華プリント（デジタルデータを転写紙に出力、生地へ直接転写し、色鮮やかで詳細なプリントができる技術）を主とした受託加工事業を展開。



【SQUADRA ブランド事業】

チームウェアブランド「SQUADRA（スクアドラ）」を展開。サッカー、バスケットボール、バレーボール、野球を中心に、あらゆるチームスポーツ、チームウェアの生産販売を受託。



BackGround

～事業化にいたる経緯・背景～

【パンフレット等紙媒体だけでは、ユニフォームの完成図はイメージしにくい】

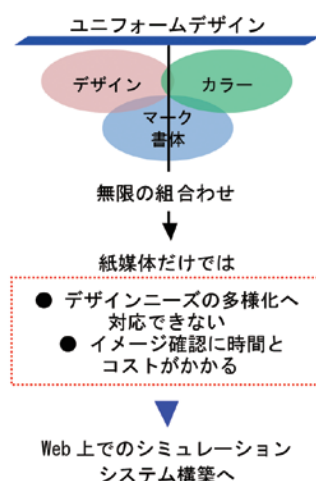
顧客（中学・高校のスポーツクラブ等）が当社にてデザイン自由度の高い「昇華転写プリント」技術を利用したスポーツユニフォームを検討する際、デザインやカラー・背番号等のマーク書体の組み合わせが無数であることから、顧客は紙媒体であるパンフレットやカタログではユニフォームの完成予想図をリアルタイムで確認することが困難であった。

【デザイン画の修正作業によるコストアップ】

従来、ユーザーが取扱い販売店にイメージを伝え、それを弊社にデザイン依頼し、数日後に完成イメージを送付していたが、軽微な修正等でも都度当社に修正依頼があり、それが製品のコストアップの要因にもつながっていた。

【プロダクトアウト的なデザインでは満足できないユーザー】

大手メーカーのプロダクトアウト的な製品や販売手法では満足できないユーザーが自分のデバイスで完成イメージ図をカスタマイズ、シミュレーションし「自ら作り上げる」という文化を楽しめ、他社との差別化も図りつつ、オーダーの簡素化による収益性改善も見込める当該システムの構築に着手した。



■代表者 代表取締役社長 勝谷 仁彦

1941年の創業以来、作業服等の縫製で培ったノウハウを活かし、近年はオリジナルスポーツウェアの生産を拡大してきました。「昇華プリント」という技術で、生地からデザインまで、小ロット対応できる体制を整えています。わたしたちは、商品を生産して販売することを目的にしているのではなく、チームの哲学やメンバー個々の人間性の成長のきっかけを作ることを目指しています。

Contents

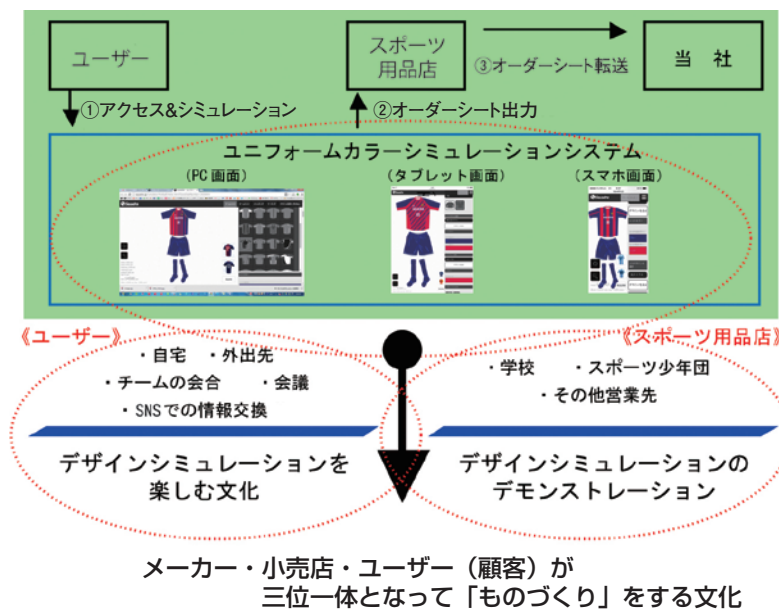
～事業の詳細・成果～

- ユーザーが自分のPC、スマホ等でユニフォームデザインをリアルタイムでシミュレーション
- デザインを楽しむ文化の創造による大手企業との差別化、短期間化によるコストダウンを実現

ユニフォームカラーシミュレーションシステムを導入し、ユーザーが自分のPC、スマホ等でユニフォームデザインをリアルタイムでシミュレーションできるようになった。

ユーザーはスポーツ用品店に行くことなく、自宅や外出先でデザインをシミュレーションでき、SNS等を利用し情報発信する等、ユニフォームを作り上げる文化を広めることが可能となった。

また、スポーツ用品店の営業マンが、外出先でユニフォームのシミュレーションを行い、プレゼンテーションができるようになり販売までのリードタイムが格段に減った。



Task

～事業化における課題～

課題① 特定デバイスで動作しないアプリ

当該事業着手当時、アドビ社のFLASHがiPhone等でデフォルトで動作しないという状況に接し、将来どのような新しいデバイスが開発されようとも、適切に画面表示されるシステムの開発が不可欠であった。

課題② ユニフォームカラーシミュレーションシステムは経営の一手段

当該システム導入後、売上は1.5倍に拡大したが、当該システムは、あくまで経営戦略の一手段だと捉えるべきだと考えている。

Solution

～解決への道筋～

施策① HTML5の利用

HTML5を利用し、様々なデバイスで対応可能なシステムを構築。このシステムにおいて更新や追加があっても、1つのシステムを修正すればどのデバイスでも修正されることになる。

施策② 企業の総合力が信頼につながる

スポーツ用品店への営業活動、またスポーツ用品店が行う営業活動へのフォロー、さらにはユニフォームを売ったあとのアフターフォロー等、導入したシステムだけでなく、企業としての総合力を発揮してこそ、取引先やユーザーからの信頼を構築できる。

Future

～今後の事業スケジュール～

【事業終了後5年目の目標】

- 1日250ページビュー 年間91,250ページビュー。

【システムを利用した将来的な取引形態】

- ユーザーはスポーツ用品店に製品を取りに行くだけで済むような、システムを通じてのユーザーとの直接取引も視野に入れている。

株式会社 アクラム

- 設立 昭和17年5月
- 所属団体 奈良県繊維工業協同組合連合会
- 資本金 1,000万円
- 事業内容 チームスポーツウェアのオーダーメイド生産および販売
- 従業員数 65名
- 本社所在地 奈良県北葛城郡広陵町大塚507
- TEL 0745-53-0001
- URL <https://www.akuram.co.jp/>
- E-MAIL info@squadra.jp

